

(案)

平成19年度
終末期医療（生活を支える医療）に関する調査

（一般国民対象）

問1 最近、終末期医療に関して「安楽死」「尊厳死」「リビングウィル（書面による生前の意思表示）」などの問題が話題になっていますが、あなたはこれらのことに関心がありますか。（○は1つ）

- 1 非常に関心がある
- 2 まあ関心がある
- 3 あまり関心がない
- 4 ほとんど（全く）関心がない

補問（問1）

（問1で1か2をお選びの方に）あなたは、「安楽死」、「尊厳死」、「リビングウィル（書面による生前の意思表示）」などの終末期に関する問題に関して、自分自身がどの程度知っているとお考えですか。（○は1つ）

- 1 よく知っている
- 2 詳しくはないが、まあ知っている
- 3 あまり知らない
- 4 ほとんど（全く）知らない

問2 あなたご自身が治る見込みがない病気になった場合、その病名や病気の見通し（治療期間、余命）について知りたいとお考えになりますか。（○は1つ）

- 1 知りたい（補問へお進みください）
- 2 知りたくない（問3-1へお進みください）
- 3 わからない（問3-1へお進みください）

補問（問2で1をお選びの方に）この場合、病名や病気の見通しについて直接担当医師から説明を受けられますか。（○は1つ）

- 1 受ける
- 2 家族に聞いてもらい、その話しを聞く
- 3 その他（具体的に)

~~問3-1 あなたご自身が痛みを伴い、しかも治る見込みがなく、非常に死期が迫っている（1ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定）と告げられた場合、心肺蘇生措置についてどのようにお考えになりますか。（○は1つ）~~

- | | |
|--------------|------------------------------|
| 1 | 心肺蘇生措置は続けられるべきである |
| 2 | 心肺蘇生措置はやめたほうがよい |
| 3 | 心肺蘇生措置はやめるべきである |
| 4 | わからない |

~~※ここでいう心肺蘇生措置とは死が迫った時に行われる以下の行為を指すものとします。「心臓マッサージ、気管内挿管、気管切開、人工呼吸器の装着、昇圧剤の投与等の医療行為」~~

(問3-1の差し替え)

あなたご自身が突然重い病気や不慮の事故などで、適切な医療の継続にもかかわらず、治る見込みがなく死が間近に迫っている（数日程度あるいはそれより短い期間）と告げられた場合、心肺蘇生についてどのようにお考えになりますか。（○は1つ）

- 1 心肺蘇生措置は続けられるべきである
- 2 心肺蘇生措置はやめたほうがよい
- 3 心肺蘇生措置はやめるべきである
- 4 わからない

※ ここでいう心肺蘇生措置とは死が迫った時に行われる以下の行為を指すものとします。「心臓マッサージ、気管内挿管、気管切開、人工呼吸器の装着、昇圧剤の投与等の医療行為」

問3-2 あなたご自身が痛みを伴い、しかも治る見込みがなく死期が迫っている（6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定）と告げられた場合、単なる延命医療についてどのようにお考えになりますか。（○は1つ）

- 1 単なる延命医療であっても続けられるべきである
(問4-1へお進みください)
- 2 単なる延命医療はやめたほうがよい（補問1へお進みください）
- 3 単なる延命医療はやめるべきである（補問1へお進みください）
- 4 わからない（問4-1へお進みください）

補問1（問3-1で2か3をお選びの方に）この場合単なる延命医療を中止するとき、具体的にはどのような方法が考えられますか。お考えに近いものをお選びください。
(○は1つ)

- 1 痛みをはじめとしたあらゆる苦痛を和らげることに重点をおく方法
(問4-1へお進みください)
- 2 単なる延命医療を中止して、自然に死期を迎えさせる様な方法
(問4-1へお進みください)
- 3 ~~あらゆる苦痛から解放され安楽になるために、~~医師によって積極的な方法で生命を短縮させるような方法（補問2へお進みください）
- 4 わからない（問4-1へお進みください）

補問2 (補問1で3をお選びの方に) このような方法がなされるとすると、その時にどのような条件が必要となるとお考えでしょうか。あなたのお考えに近いものをいくつかもお選びください。(〇はいくつでも)

- 1 医学的にみて患者が不治の病に冒され、しかもその死が目前に迫っていること
- 2 患者の痛みが甚だしく、誰もがこれを見るに忍びないほどであること
- 3 患者の痛みからの解放を目的とした治療が十分なされていること
- 4 患者本人の強い要請があること
- 5 方針の決定は担当医だけではなく、複数の医師又は医療チームによってなされること
- 6 医師が十分に患者に説明して、患者が納得した後で行われること
- 7 医師の手によることを原則とし、これができない場合は世間が納得できるだけの特別な事情があること
- 8 方法が常識的にも妥当なものとして認め得るものであること
- 9 その他 ()
- 10 わからない

問4-1 あなたご自身が痛みを伴い、しかも治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)と告げられた場合、療養生活は最期までどこで送りたいですか。(〇は1つ)

- 1 なるべく早く今まで通った(又は現在入院中の)医療機関に入院したい
- 2 なるべく早く緩和ケア病棟(終末期における症状を和らげることを目的とした病棟)に入院したい
- 3 自宅で療養して、必要になればそれまでの医療機関に入院したい
- 4 自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい
- 5 自宅で最期まで療養したい
- 6 専門的医療機関(がんセンターなど)で積極的に治療を受けたい
- 7 老人ホームに入所したい
- 8 その他(具体的に)
- 9 わからない

問4-2 あなたは自宅で最期まで療養できるとお考えになりますか。(〇は1つ)

- 1 実現可能である(問5へお進みください)
- 2 実現困難である(補問へお進みください)
- 3 わからない(問5へお進みください)

補問 (問4-2で2をお選びの方へ) 実現できないとお考えになる具体的な理由はどんなことでしょうか。お考えに近いものをお選びください。(〇はいくつでも)

- 1 往診してくれるかかりつけの医師がいない
- 2 訪問看護(看護師の訪問)体制が整っていない
- 3 訪問介護(ホームヘルパーの訪問)体制が整っていない
- 4 24時間相談にのってくれるところがない
- 5 介護してくれる家族がいない
- 6 介護してくれる家族に負担がかかる
- 7 症状が急に悪くなったときの対応に自分も家族も不安である
- 8 症状が急に悪くなったときに、すぐ病院に入院できるか不安である
- 9 居住環境が整っていない
- 10 経済的に負担が大きい
- 11 その他(具体的に)

問5 では、あなたの家族が痛みを伴い、しかも治る見込みがなく死期が迫っている(6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定)と告げられた場合、単なる延命医療についてどのようにお考えになりますか。(〇は1つ)

- 1 単なる延命医療であっても続けられるべきである(問6へお進みください)
- 2 単なる延命医療はやめたほうがよい(補問へお進みください)
- 3 単なる延命医療はやめるべきである(補問へお進みください)
- 4 わからない(問6へお進みください)

補問 (問5で2か3をお選びの方に) この場合単なる延命医療を中止するとき、具体的にはどのような方法が考えられますか。お考えに近いものをお選びください。

(〇は1つ)

- 1 痛みをはじめとしたあらゆる苦痛を和らげることに重点をおく方法
- 2 単なる延命医療を中止して、自然に死期を迎えさせる様な方法
- 3 ~~あらゆる苦痛から解放され安楽になるために、医師によって積極的な方法~~
で生命を短縮させるような方法
- 4 わからない

問6 あなたの家族が痛みを伴い、しかも治る見込みがなく死期が迫っている（6ヶ月程度あるいはそれより短い期間を想定）と告げられた場合、療養生活は最期までどこを薦めますか。（○は1つ）

- 1 なるべく早く今まで通った（今、入っている）医療機関へ入院させたい
- 2 なるべく早く緩和ケア病棟（終末期における症状を和らげることを目的とした病棟）へ入院させたい
- 3 自宅で療養して、必要になればそれまでの医療機関へ入院させたい
- 4 自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟へ入院させたい
- 5 自宅で最期まで療養させたい
- 6 専門的医療機関（がんセンターなど）で積極的な治療をさせたい
- 7 老人ホームへ入所させたい
- 8 その他（具体的に)
- 9 わからない

（問6-1）あなたの家族は自宅で最期まで療養できるとお考えになりますか。（○は1つ）

- 1 実現可能である（問7へお進みください）
- 2 実現困難である（問6-2へお進みください）
- 3 わからない（問7へお進みください）

（問6-2）（問6-1で2をお選びの方へ）実現できないとお考えになる具体的な理由はどんなことでしょうか。お考えに近いものをお選びください。（○はいくつでも）

- 1 往診してくれるかかりつけの医師がいない
- 2 訪問看護（看護師の訪問）体制が整っていない
- 3 訪問介護（ホームヘルパーの訪問）体制が整っていない
- 4 24時間相談にのってくれるところがない
- 5 介護する家族がいない
- 6 介護する家族に負担がかかる
- 7 症状が急に悪くなったときの対応に本人も家族も不安である
- 8 症状が急に悪くなったときに、すぐ病院に入院できるか不安である
- 9 居住環境が整っていない
- 10 経済的に負担が大きい
- 11 その他（具体的に)

問7 あなたご自身が、遷延性意識障害持続的植物状態で治る見込みがないと診断された場合、単なる延命医療についてどのようにお考えになりますか。(○は1つ)

- 1 単なる延命医療であっても続けられるべきである(問8へお進みください)
- 2 単なる延命医療はやめたほうがよい(補問へお進みください)
- 3 単なる延命医療はやめるべきである(補問へお進みください)
- 4 わからない(問8へお進みください)

※ここでいう「遷延性意識障害持続的植物状態」とは

「脳幹以外の脳の機能が障害され、通常3～6ヶ月以上自己及び周囲に対する意識がなく、言語や身振りなどによる意思の疎通はできないが、呼吸や心臓の動き、その他内臓機能は保たれている状態をいう」ものとします。

補問 (問7で2か3をお選びの方に) この場合単なる延命医療を中止するとき、具体的にはどのような時期に中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

- 1 意識不明の状態から回復しないと診断されたとき
- 2 生命の助かる見込みがないと診断されたとき
- 3 生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき
- 4 わからない

~~補問2 (問7で2か3をお選びの方に) この場合単なる延命医療を中止するとき、具体的にはどのような治療を中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)~~

- ~~1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療は中止してよいが、それ以外の治療(床ずれの手当や点滴等)は続ける~~
- ~~2 一切の治療は中止してよい~~
- ~~3 その他(具体的に)~~
- ~~4 わからない~~

問8 では、あなたの家族が、遷延性意識障害持続的植物状態で治る見込みがないと診断された場合、単なる延命医療についてどのようにお考えになりますか。(○は1つ)

- 1 単なる延命医療であっても続けられるべきである(問9へお進みください)
- 2 単なる延命医療はやめたほうがよい(補問へお進みください)
- 3 単なる延命医療はやめるべきである(補問へお進みください)
- 4 わからない(問9へお進みください)

※ここでいう「遷延性意識障害持続的植物状態」とは

「脳幹以外の脳の機能が障害され、通常3～6ヶ月以上自己及び周囲に対する意識がなく、言語や身振りなどによる意思の疎通はできないが、呼吸や心臓の動き、その他内臓機能は保たれている状態をいう」ものとします。

補問 (問8で2か3をお選びの方に) この場合単なる延命医療を中止するとき、具体的にはどのような時期に中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)

- 1 意識不明の状態から回復しないと診断されたとき
- 2 生命の助かる見込みがないと診断されたとき
- 3 生命の助かる見込みがなく、死期が迫っていると診断されたとき
- 4 わからない

~~補問2 (問8で2か3をお選びの方に) この場合単なる延命医療を中止するとき、具体的にはどのような治療を中止することが考えられますか。お考えに近いものをお選びください。(○は1つ)~~

- ~~1 人工呼吸器等、生命の維持のために特別に用いられる治療は中止してよいが、それ以外の治療(床ずれの手当や点滴等)は続ける~~
- ~~2 一切の治療は中止してよい~~
- ~~3 その他(具体的に)~~
- ~~4 わからない~~